



身の丈に合わせろだって・・・

英語の民間検定試験について、萩生田文科相は「裕福な家庭の子が回数を受けてウオーミングアップできるよいうなことはあるかもしれない」そこは自分の身の丈に合わせて2回を選んで頑張ってもらえれば」と語った。

英語の民間検定試験の中から二回までの成績が大学に提供される。何回でも練習できる。試験費用も高額で、試験会場は大都市なので交通費もかかる。裕福な家庭の子は何度でも受けて練習できる。

つまり「貧乏人は練習は諦めろ」と云ったのだ。「誤解を与えるので取り消す」と云うが誰も誤解していない。

例え貧しくても

例え貧しくても、金持ちの子と対等に学力を競うことができるよ

高校での勉学で

うにするのが政治の役割では無いだろうか？何回でも練習できるよいうな試験制度は、検定業者が儲ける為に設けられたのではないか。

こんな試験が中止になったのは当然の事。高校での勉学の結果が反映される試験のやり方がある筈・・・

イタリアでは、高校を卒業すれば誰でも大学に進学できる。しかし、重要なことは大学を卒業するのが至難の業。しっかり学ばないと卒業証書は貰えない。

ところが日本ではどうか？入試は厳しい。しかし、入ってしまったら卒業は何かできてしまう。大学のあり方自体を見直すべきではないか？

あなたはどう思われますか？

浅い海はエメラルドグリーン

沖縄県石垣市崎枝

2019年10月



石垣島の西北部、崎枝の牧草地。太陽が正面に来ると、

手前の海岸近くの浅い海がエメラルドグリーンに。その範囲は徐々に広がって行く。

これぞ黒潮に洗われる石垣島だ。

シュノーケリングか釣りか、何隻かの船が見える。

右の方に見える島は竹富島。最高地でも33mという平らな島。湾の向かい側、バンナ岳の向こうに市街地が広がる。

石垣島では牧畜が盛ん。街中には「石垣牛」を売りにしている店も多い。

しかし、石垣島で肥育される牛は多くなく、殆どが子牛として全国に出荷されるそうだ。松阪牛や神戸牛等のブランド牛も実は石垣生まれだったりするとい

